D-Link DMS-108P

Multi Gigabit Unmanaged PoE Switch

ユーザマニュアル

D-Link
Building Networks for People

安全にお使いいただくために

ご自身の安全を確保し、システムを破損から守るために、以下に記述する安全のための指針をよくお読みください。

安全上のご注意　必ずお守りください

本製品を安全にお使いいただくために、以下の項目をよくお読みになり必ずお守りください。

⚠危険	この表示を無視し、間違った使い方をすると、死亡または重傷を負うおそれがあります。
⚠警告	この表示を無視し、間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になるおそれがあります。
⚠注意	この表示を無視し、間違った使い方をすると、傷害または物的損害が発生するおそれがあります。

記号の意味　⃠ してはいけない**「禁止」**内容です。　❗ 必ず実行していただく**「指示」**の内容です。

⚠危険

⃠ 禁止 **分解・改造をしない**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⃠ 禁止 **ぬれた手でさわらない**
感電の原因となります。

⃠ 禁止 **水をかけたり、ぬらしたりしない**
内部に水が入ると、火災、感電、故障の原因となります。

⃠ 禁止 **水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）でぬれた状態で触ったり、電源を入れたりしない**
火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。

⃠ 禁止 **各種端子やスロットに水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）をいれない。万が一、入ってしまった場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜く**
火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。

⃠ 禁止 **油煙、湯気、湿気、埃の多い場所、高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内、風呂場など）、振動の激しい場所では、使用、保管、放置しない**
火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。

⃠ 禁止 **内部に金属物や燃えやすいものを入れない**
火災、感電、故障の原因となります。

⃠ 禁止 **砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしない。また、砂などが付着した手で触れない**
火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。

⃠ 禁止 **電子レンジ、IH 調理器などの加熱調理機、圧力釜など高圧容器に入れたり、近くに置いたりしない**
火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。

⚠警告

⃠ 禁止 **落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない**
故障の原因となります。

⃠ 禁止 **発煙、焦げ臭い匂いの発生などの異常状態のまま使用しない**
感電、火災の原因になります。
使用を止めて、ケーブル / コード類を抜いて、煙が出なくなってから販売店に修理をご依頼ください。

⃠ 禁止 **表示以外の電圧で使用しない**
火災、感電、または故障の原因となります。

⃠ 禁止 **たこ足配線禁止**
たこ足配線などで定格を超えると火災、感電、または故障の原因となります。

❗ **設置、移動のときは電源プラグを抜く**
火災、感電、または故障の原因となります。

⃠ 禁止 **雷鳴が聞こえたら、ケーブル / コード類にはさわらない**
感電の原因となります。

⃠ 禁止 **ケーブル / コード類や端子を破損させない**
無理なねじり、引っ張り、加工、重いものの下敷きなどは、ケーブル / コードや端子の破損の原因となり、火災、感電、または故障の原因となります。

❗ **本製品付属の AC アダプタもしくは電源ケーブルを指定のコンセントに正しく接続して使用する**
火災、感電、または故障の原因となります。

⃠ 禁止 **各光源をのぞかない**
光ファイバケーブルの断面、コネクタおよび本製品のコネクタや LED をのぞきますと強力な光源により目を損傷するおそれがあります。

⃠ 禁止 **各種端子やスロットに導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにする**
火災、やけど、けが、感電または故障の原因となります。

⃠ 禁止 **使用中に布団で覆ったり、包んだりしない**
火災、やけどまたは故障の原因となります。

❗ **ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉じんが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切る**
引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

⃠ 禁止 **カメラのレンズに直射日光などを長時間あてない**
素子の退色、焼付きや、レンズの集光作用により、火災、やけど、けがまたは故障の原因となります。

❗ **無線製品は病院内で使用する場合は、各医療機関の指示に従って使用する**
電子機器や医療電気機器に悪影響を及ぼすおそれがあります。

⃠ 禁止 **本製品の周辺に放熱を妨げるようなもの（フィルムやシールでの装飾を含む）を置かない**
火災、または故障の原因となります。

❗ **耳を本体から離してご使用ください**
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴などの耳の障害の原因となります。

❗ **無線製品をご使用の場合、医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは、販売業者に、電波による影響について確認の上使用する**
医療電気機器に悪影響を及ぼすおそれがあります。

❗ **高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない**
電子機器が誤作動するなど、悪影響を及ぼすおそれがあります。

❗ **ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際は、割れたガラスや露出した端末内部に注意する**
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電の原因となります。

❗ **ペットなどが本機に噛みつかないように注意する**
火災、やけど、けがなどの原因となります。

⃠ 禁止 **コンセントに AC アダプタや電源ケーブルを抜き差しするときは、金属類を接触させない**
火災、やけど、感電または故障の原因となります。

⃠ 禁止 **AC アダプタや電源ケーブルに海外旅行用の変圧器等を使用しない**
発火、発熱、感電または故障の原因となります。

⚠警告

- ACアダプタもしくは電源プラグについたほこりは、拭き取る
  ほこりが付着した状態で使用すると、
  火災、やけど、感電または故障の原因となります。
- ACアダプタや電源ケーブルをコンセントに
  さしこむときは、確実に差し込む
  確実に差し込まないと、火災、やけど、
  感電もしくは故障の原因となります。
- 接続端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用を中止する。
  また、変形をもとに戻しての使用も行わない
  端子のショートにより、火災、やけど、けが、
  感電または故障の原因となります。
- 各種接続端子を機器本体に接続する場合、斜めに差したり、
  差した状態で引っ張ったりしない
  火災、やけど、感電または故障の原因となります。
- 使用しない場合は、ACアダプタもしくは
  電源ケーブルをコンセントから抜く
  電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、
  感電または故障の原因となります。
- お手入れの際は、ACアダプタもしくは
  電源ケーブルをコンセントから抜く
  抜かずに行うと、火災、やけど、感電または故障の原因となります。
- 禁止 SDやMicroSDカード、USBメモリの使用中は、
  カードやメモリを取り外したり、本製品の電源を切ったりしない
  データの消失、機器本体の故障の原因となります。
- 禁止 磁気カードや磁気を帯びたものを本製品に近づけない
  磁気カードのデータが消えてしまうおそれもしくは
  機器本体の誤作動の原因となります。
- ディーリンクジャパンが販売している無線機器は
  国内専用のため、海外で使用しない
  海外では国によって電波使用制限があるため、
  本製品を使用した場合、罰せられる場合があります。
  海外から持ち込んだディーリンク製品や並行輸入品を
  日本国内で使用する場合も同様に、罰せられる場合があります。

⚠注意

- 禁止 乳幼児の手の届く場所では使わない
  やけど、ケガまたは感電の原因となります。
- 静電気注意
  コネクタや電源プラグの金属端子に触れたり、
  帯電したものを近づけますと故障の原因となります。
- 禁止 コードを持って抜かない
  コードを無理に曲げたり、引っ張ると、
  コードや機器本体の破損の原因となります。
- 禁止 振動が発生する場所では使用しない
  故障の原因となります。
- 付属品の使用は取扱説明書に従う
  本製品の付属品は、取扱説明書に従い、
  他の製品に使用しないでください。機器の破損の原因となります。
- 禁止 破損したまま使用しない
  火災、やけどまたはけがの原因となります。
- 禁止 ぐらついた台の上や傾いた場所などの
  不安定な場所や高所には置かない
  落下して、けがなどの原因となります。
- 禁止 子供が使用する場合は、保護者が取扱いの方法を教え、
  誤った使い方をさせない
  けがや故障などの原因となります。
- 本製品を長時間連続使用する場合は、
  温度が高くなることがあるため、注意する。
  また、使用中に眠ってしまうなどして、
  意図せず長時間触れることがないようにする
  温度の高い部分に直接長時間触れると
  お客様の体質や体調によっては肌の赤みや
  かゆみ、かぶれ、低温やけどの原因となります。
- 禁止 コンセントにつないだ状態で、ACアダプタや
  電源コンセントに長時間触れない
  やけど、感電の原因となります。
- 一般の電話機やコードレス電話、テレビ、ラジオなどを
  お使いになっている近くで使用しない
  近くで使用すると、本製品が悪影響を及ぼす原因となる場合があるため、
  なるべく離れた場所で使用してください。
- 禁止 D-Linkが指定したオプション品がある場合は、
  指定オプションを使用する
  不正なオプション品を使用した場合、故障、破損の原因となります。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI - B

ご使用上の注意

けがや感電、火災および装置の破損のリスクを減らすために、以下の注意事項を遵守してください。

- マニュアルなどに記載されている以外の方法でのご使用はやめてください。
- 食べ物や飲み物が本製品にかからないようにしてください。また、水気のある場所での運用は避けてください。
- 本製品の開口部に物をさしこまないでください。火事や感電を引き起こすことがあります。
- 付属の AC アダプタもしくは電源ケーブルのみを使用してください。
- 感電を防止するために、本製品と周辺機器の電源ケーブルは、正しく接地された電気コンセントに接続してください。
- やむなく延長コードや電源分岐回路を使用する場合においても、延長コードと電源分岐回路の定格を守ってください。延長コードまたは電源分岐回路に差し込まれているすべての製品の合計定格アンペア数が、その延長コードまたは、電源分岐回路の定格アンペア限界の 8 割を超えないことを確認してください。
- 一時的に急激に起こる電力の変動から本製品を保護するためには、サージサプレッサ、回線調整装置、または無停電電源装置（UPS）を使用してください。
- ケーブルと電源コードは慎重に取り付けてください。踏みつけられたり躓いたりしない位置に、ケーブルと電源コードを配線し、コンセントに差し込んでください。また、ケーブル上に物を置いたりしないようにしてください。
- 電源ケーブルや電源プラグを改造しないでください。
- システムに対応しているホットプラグ可能な電源装置に電源を接続したり、切り離したりする際には、以下の注意を守ってください。
  - 電源装置を取り付ける場合は、電源装置を取り付けてから、電源ケーブルを電源装置に接続してください。
  - 電源装置を取り外す場合は、事前に電源ケーブルを抜いておいてください。
  - システムに複数の電源がある場合、システムから電源を切り離すには、すべての電源ケーブルを電源装置から抜いておいてください。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取り扱い説明書に従ってください。
- 本製品は動作中に高温になる場合があります。本製品の移動や取り外しの際には、ご注意ください。
- 本製品は動作中に高温になる場合がありますが、手で触れることができる温度であれば故障ではありません。ただし長時間触れたまま使用しないでください。低温やけどの原因になります。
- 市販のオプション品や他社製品を使用する場合、当社では動作保証は致しませんので、予めご了承ください。
- 製品に貼られているラベルや「Warranty Void Sticker」（シール）をはがさないでください。はがしてしまうとサポートを受けられなくなります。
  ※当社出荷時に「Warranty Void Sticker」（シール）が貼られていない製品もあります。

静電気障害を防止するために

静電気は、本製品内部の精密なコンポーネントを損傷する恐れがあります。静電気による損傷を防ぐため、本製品に触れる前に、身体から静電気を逃がしてください。
さらに、静電気放出（ESD）による損傷を防ぐため、以下の手順を実行することをお勧めします。

1. 機器を箱から取り出すときは、機器をシステム等に取り付ける準備が完了するまで、本製品を静電気防止包装から取り出さないでください。静電気防止包装から取り出す直前に、必ず身体の静電気を逃がしてください。

2. 静電気に敏感な部品を運ぶ場合、最初に必ず静電気対策を行ってください。

3. 静電気に敏感な機器の取り扱いは、静電気のない場所で行います。可能であれば、静電気防止床パッド、作業台パッド、および帯電防止接地ストラップを使用してください。

電源の異常

万一停電などの電源異常が発生した / する場合は、必ず本スイッチの電源プラグを抜いてください。電源が再度供給できる状態になってから電源プラグを再度接続します。

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
本書は、製品を正しくお使いいただくための取扱説明書です。
必要な場合には、いつでもご覧いただけますよう大切に保管してください。
また、必ず本書、設置マニュアル、および弊社 WEB に掲載された製品保証規程をよくお読みいただき、内容をご理解いただいた上で、記載事項に従ってご使用ください。

製品保証規定は以下を参照ください。
https://www.dlink-jp.com/support/product-assurance-provision

注意 製品に貼られているラベルや「Warranty Void Sticker」(シール) をはがさないでください。はがしてしまうとサポートを受けられなくなります。

※当社出荷時に「Warranty Void Sticker」（シール）が貼られていない製品もあります。

- 本書の記載内容に逸脱した使用の結果発生した、いかなる障害や損害において、弊社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- 弊社製品の日本国外でご使用の際のトラブルはサポート対象外になります。
- 弊社は、予告なく本書の全体または一部を修正・改訂することがあります。
- 弊社は改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

なお、本製品の最新情報やファームウェアなどを弊社ホームページにてご提供させていただく場合がありますので、ご使用の前にご確認ください。
製品保証、保守サービス、テクニカルサポートご利用について、詳しくは弊社ホームページのサポート情報をご確認ください。
https://www.dlink-jp.com/support

警告 本書の内容の一部、または全部を無断で転載したり、複写することは固くお断りします。

目次

安全にお使いいただくために 2
ご使用上の注意 4
静電気障害を防止するために 4
電源の異常 4

はじめに 7

本マニュアルの対象者 8
表記規則について 8
製品名 / 品番一覧 8

第 1 章　本製品のご利用にあたって 9

DMS-108P 概要 9
機能について 10
PoE（Power over Ethernet） 10
QoS（Quality of Service） 10
D-Link Green 省電力機能 10
外観について 10
LED 表示 11

第 2 章　機器の設置 12

パッケージの内容 12
ネットワーク接続前の準備 12
スイッチの接地 13
接地に必要なツールと機器 13
壁面への設置 14
ゴム足の取り付け 15
電源の投入 15

第 3 章　機器の接続 16

ネットワークへの接続 16
一般的な接続 16
PoE 接続 17

第 4 章　保証とテクニカルサポート 18

製品に関するお問い合わせについて 18
お問い合わせに必要な情報 18
個人情報のお取り扱い 18
日本国外での使用について 19
廃棄方法について 19
商標について 19
ご注意 19

はじめに

本ユーザマニュアルは、DMS-108P の設置および接続方法を記載しています。

- 第 1 章　本製品のご利用にあたって
  - 製品の概要と機能について説明します。また、前面および背面の各パネルと LED 表示について説明します。
- 第 2 章　機器の設置
  - 本製品の基本的な設置方法について説明します。
- 第 3 章　機器の接続
  - 本製品の基本的な接続方法について説明します。
- 第 4 章　保証とテクニカルサポート
  - 保証とテクニカルサポートについて説明します。

本マニュアルの対象者

本マニュアルは、本製品の設置および管理についての情報を記載しています。また、ネットワーク管理の概念や用語に十分な知識を持っているネットワーク管理者を対象としています。

表記規則について

本項では、本マニュアル中での表記方法について説明します。

注意 注意では、使用にあたっての注意事項について説明します。

警告 警告では、ネットワークの接続状態やセキュリティなどに悪影響を及ぼす恐れのある事項について説明します。

補足 補足では、特長や技術についての詳細情報について説明します。

参照 参照では、別項目での説明へ誘導します。

表 1 に、本マニュアル中での字体、・記号についての表記規則を表します。

表 1　字体・記号の表記規則

字体・記号	解説	例
「」	メニュータイトル、ページ名、ボタン名。	「Submit」ボタンをクリックして設定を確定してください。
青字	参照先。	" ご使用になる前に "（13 ページ）をご参照ください。

製品名 / 品番一覧

製品名	品番
DMS-108P	DMS-108P/A1

第 1 章　本製品のご利用にあたって

- DMS-108P 概要
- 機能について
- 外観について

DMS-108P 概要

DMS-108P は、マルチギガビット 8 ポートを搭載した、アンマネージド PoE スイッチです。ご家庭やオフィスネットワークの末端機器として利用することができます。IEEE 802.3af/at/bt PoE 給電に対応しており、アクセスポイント、IP カメラ、IP フォンなどの様々な PoE 受電デバイスに電力を供給することが可能です。コンパクト & サイレント設計のため、静かな場所への設置にも適しています。

PoE 対応ポート搭載 & ファンレス設計

DMS-108P は IEEE 802.3af/at/bt 準拠の PoE ポートを 8 ポート搭載しており、1 ポートあたり最大 90W の電力を PoE 受電デバイスに供給することが可能です。これによりネットワーク内での余計な電源ケーブルの配線をなくし、安全で簡素なネットワークを構築することが可能です。
また、冷却ファンを排除したファンレス設計により、ファンによるノイズが発生しないためデスクトップなどでの利用に最適です。

D-Link Green 省電力

D-Link Green 省電力機能に対応しており、リンクダウン時に自動的に省電力モードに移行し、電力消費を自動的に抑制します。これにより、環境への配慮、製品寿命の延命化、発熱の抑制、運用時のコスト削減を実現します。

IEEE 802.3x フローコントロールをサポート

全ポートがフロー制御に対応しているため、破棄されるパケットが減少します。これにより、再送要求による不要なトラフィックの増加を抑え、実効転送速度が向上します。

全ポートオートネゴシエーション機能搭載

全ポートが通信速度や全二重 / 半二重を自動認識、サーバアクセスなどのネットワーク上のボトルネックを解消して、快適なパフォーマンスを提供します。

信頼性の高いストア＆フォワードデータ転送

全ての送信データチェック行うストア＆フォワードデータ転送方式により、信頼性の高いデータ転送を提供します。

特長

- 10/100/1000/2.5G BASE-T 対応
- IEEE 802.3af/at/bt PoE ポート× 8 搭載
- D-Link Green 省電力機能
- ファンレス設計
- Auto MDI/MDI-X 機能
- オートネゴシエーション
- IEEE 802.3x フローコントロール制御
- MAC アドレス自動学習機能
- スイッチング方式：ストア＆フォワード
- セキュリティスロット搭載
- RoHS 指令対応

搭載ポート

以下のポートを搭載しています。

- 10/100/1000/2.5G ポート× 8（PoE 給電）

機能について

PoE（Power over Ethernet）

DMS-108P は IEEE 802.3af/at/bt 準拠の PoE 給電機能をサポートしており、ポート 1 ～ 8 で受電デバイスに給電することが可能です。

- スイッチの最大供給電力：230W
- 1 ポートあたりの最大供給電力：90W

PoE ポートには優先度が設定されており、ポート番号が小さいほど、給電の優先度が高くなります。
電力が不足、または電力保護帯域に達する場合、ポート番号の大きいポートから電力供給が停止されます。

QoS（Quality of Service）

DMS-108P は 8 個の送信キューをサポートしており、重要なトラフィックを優先して送信することができます。
パケット内のプライオリティタグをチェックし、対応するキューレベルにマッピングします。マッピングは 802.1p QoS PCP 値に従って行われます。

D-Link Green 省電力機能

DMS-108P は、イーサネットポートに以下の省電力機能を備えています。

■ リンクステータスによる省電力

ポートがリンクダウン状態の場合（ポートにコンピュータが接続されていない 、または接続したコンピュータの電源がオフの時など）、ポートの電力消費が抑制されます 。

外観について

前面パネルには、8 つのポートと、電源の状態、PoE の状態、ポートの状態を表示する LED を搭載しています。
LED の動作については「LED 表示」をご確認ください。

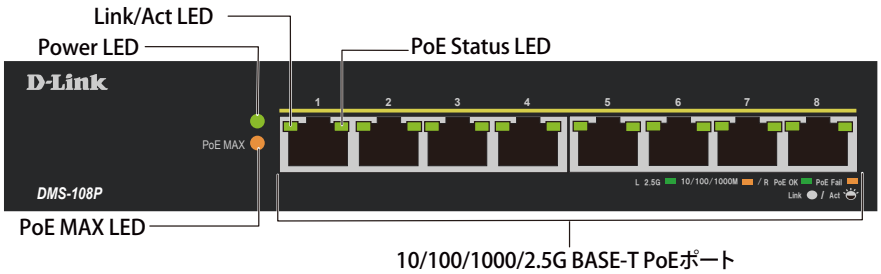

図 1-1　DMS-108P の前面パネル図

背面パネルには電源コネクタ、セキュリティスロット、接地コネクタがあります。電源コネクタには、AC アダプタと電源ケーブルを接続します。

図 1-2　DMS-108P の背面パネル図

LED 表示

電源の状態、PoE の状態、ポートの状態を表示する LED を搭載しています。

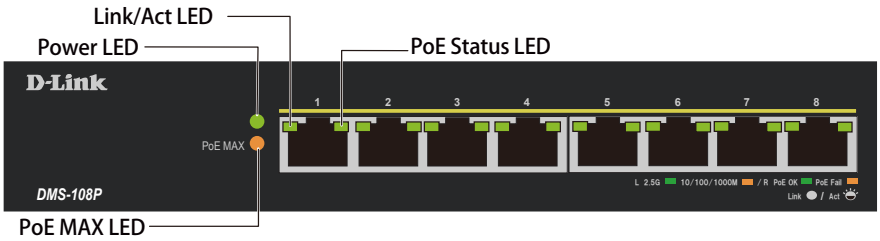

図 1-3　DMS-108P の LED 配置図

LED の状態が示すスイッチの状態は以下の通りです。

LED	色	状態	内容
Power	緑	点灯	電源が供給され正常に動作しています。
	―	消灯	電源が供給されていません。
PoE MAX	橙	点灯	PoE 電力出力の合計が 220W※1 を超えています。これ以上の PoE デバイスに対応することができません。※2
	橙	点滅	PoE の供給電力が 220W を下回ると、PoE MAX LED が 5 秒間橙色で点滅後、消灯します。
	―	消灯	PoE 電力出力の合計が 220W を下回っています。
PoE Status （ポート 1-8 の右側）	緑	点灯	PoE デバイスに電力が供給され正常に動作しています。
	橙	点灯	PoE デバイスが接続していますが、PD エラー、過電流、または PoE バジェット不足のため、電力を供給できません。
	―	消灯	PoE デバイスが接続されていません。
Link/Act/Speed （ポート 1-8 の左側）	緑	点灯	2.5Gbps でリンクが確立しています。
		点滅	2.5Gbps でデータを送受信しています。
	橙	点灯	10/100/1000Mbps でリンクが確立しています。
		点滅	10/100/1000Mbps でデータを送受信しています。
	―	消灯	リンクが確立していません。

※1：電力保護帯域（Power Guard Band）として、最大供給電力（230W）のうち 10W が確保されています。

※2：電力が不足、または電力保護帯域に達する場合、PoE ポートの優先度に応じて PoE 受電デバイスに電力を供給します。ポート番号が小さいほど、高い優先度になります。
例えば、ポート 2 ～ 4 に PD が接続され電力保護帯域に達している場合、新たにポート 1 に PD を接続すると、ポート 4 への給電が停止します。
ただし、これらの PD が接続されている限り、繰り返し電力供給と電力不足の状態になりますので、いずれかのポートの PD を抜線するなどし、230W を下回る状態にしてください。

第 2 章　機器の設置

- パッケージの内容
- ネットワーク接続前の準備
- スイッチの接地
- 壁面への設置
- ゴム足の取り付け
- 電源の投入

パッケージの内容

ご購入いただいたスイッチの梱包箱を開け、同梱物を注意して取り出してください。以下のものが同梱されています。

- 本体
- 電源ケーブル
- AC アダプタ
- 壁掛けキット（ネジ× 2、アンカー× 2 ）
- ゴム足（貼り付けタイプ）× 4
- クイックスタートガイド
- PL シート

万一、不足しているものや損傷を受けているものがありましたら、ご購入いただいた販売代理店までご連絡ください。

ネットワーク接続前の準備

スイッチの設置場所が性能に大きな影響を与えます。以下のガイドラインに従って本製品を設置してください。

- スイッチは、しっかりとした水平面で最低 3kg の耐荷重性のある場所に設置してください。
- スイッチの上に重いものを置かないでください。
- 電源ケーブルが電源ポートにしっかり差し込まれているか確認してください。
- 本スイッチの周辺で熱の放出と充分な換気ができることを確認してください。
- スイッチは動作環境範囲内の温度と湿度を保つことができる、なるべく涼しくて乾燥した場所に設置してください。
- スイッチは強い電磁場が発生するような場所（モータの周囲など）や、振動、ほこり、および直射日光を避けて設置してください。
- スイッチを水平面に設置する際は、スイッチ底面に同梱のゴム足を取り付けてください。ゴム製の足はスイッチのクッションの役割を果たし、筐体自体や他の機器に傷がつくのを防止します。
- 本スイッチ上に他の機器を積み重ねて設置することは行わないで下さい。

スイッチの接地

DMS-108P を接地する方法について説明します。

注意 スイッチの電源を投入する前に、本手順を完了する必要があります。

注意 スイッチの接地は、接地抵抗についての専門的な知識と技能を有する資格保持者により実施してください。

接地に必要なツールと機器

- 接地用ネジ（製品背面に付属のネジ）
- リング型ラグ端子付接地線（製品には付属されていません。）
- プラスドライバー（製品には付属されていません。ネジの大きさに合ったものをご使用ください。）

注意 接地線は国の各国の設置条件に従ったサイズ / 形状を選択します。商用に利用可能な 6 ～ 12AWG の範囲から適した接地線の使用をお勧めします。また接地線の長さは接地環境（接地基準点とスイッチの距離など）を考慮し選択します。

以下の手順でスイッチを保安用接地に接続します。

1. スイッチの電源が投入されていないことを確認します。
2. プラスドライバーを使用し、接地用ネジを取り外します。
3. 開いた状態の接地ネジ穴の上に、接地線（接地ケーブル）の #8 リング型ラグ端子を置き、装着します。
4. 接地ネジ穴に接地用ネジを挿入します。
5. ドライバを使用して接地用ネジをしめて、スイッチに接地線（接地ケーブル）を固定します。
6. 適切な設置スタッドやボルトなどの電位基準点に、接地線のもう一端のリング型ラグ端子を取り付けます。
7. スイッチと接地線の接続がしっかりと行われていることを確認します。

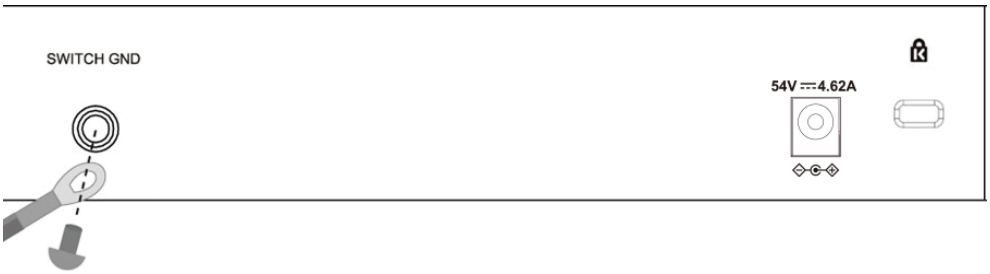

図 2-1　スイッチへのラグ端子の接地

壁面への設置

付属の壁掛けキットを利用して壁面に設置することも可能です。以下の手順で壁面に設置します。

警告　本製品を壁面に設置する際は、本製品の重さや壁面の強度、材質などを勘案し、落下などに十分注意した上で設置してください。

1. アンカーを打ち込む 2 箇所に、あらかじめドリルなどで深さ 2 cm 程度の穴を開けます。
2. 金槌などで、アンカーを奥までしっかり打ち込みます。

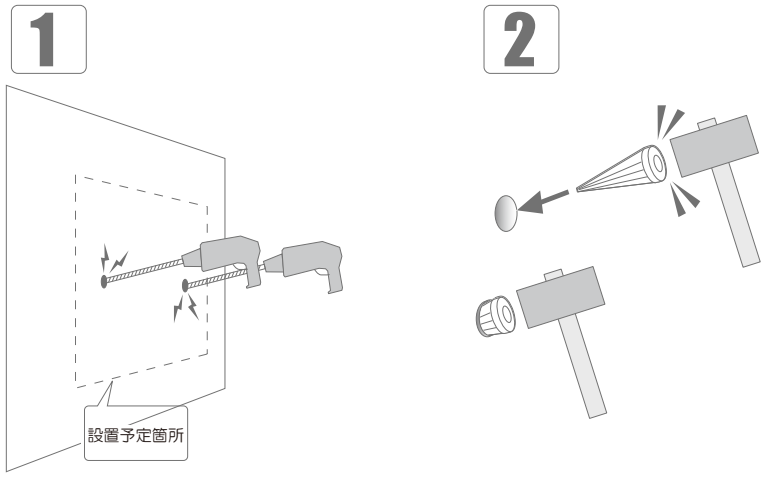

図 2-2　壁面へのアンカーの挿入

3. プラスドライバーを使用し、壁面設置用ネジをアンカーに固定します。
4. 固定した壁面設置用ネジを、本製品背面の穴に引っ掛けてください。

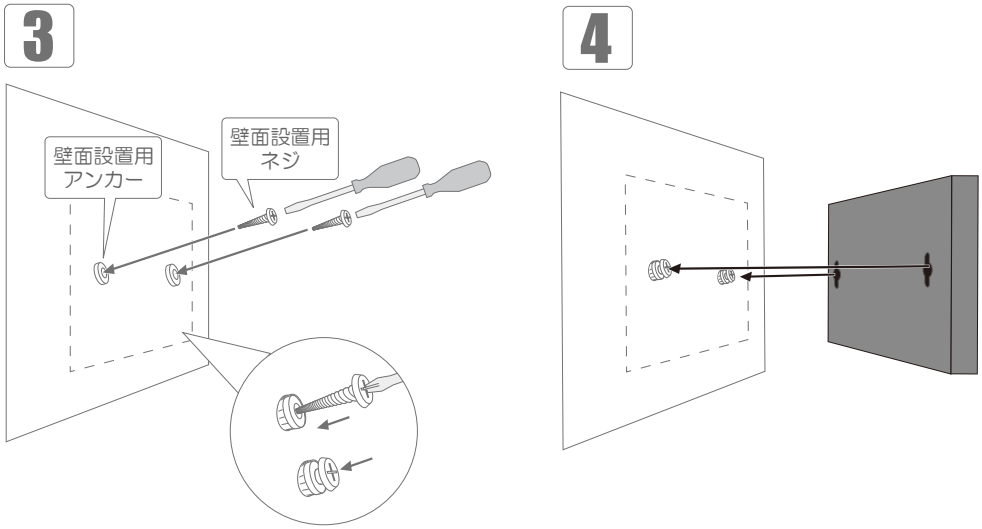

図 2-3　ネジの挿入と本体の設置

注意　設置の際、壁面に取り付けたネジが本体背面の穴にしっかりと引っかかっている事をご確認ください。

ゴム足の取り付け

机や棚の上に設置する場合は、スイッチに同梱されているゴム足を製品裏面の四隅に取り付けます。
設置する際は、スイッチの周囲に十分な通気を確保するようにしてください。

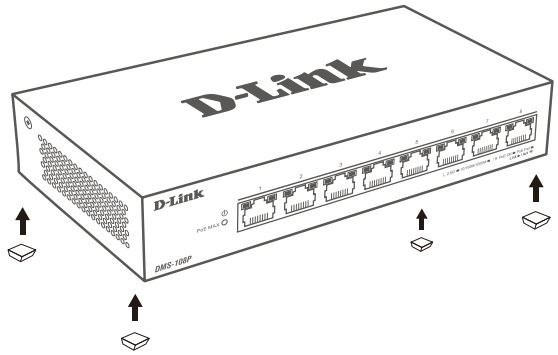

図 2-4　ゴム足の取り付け

電源の投入

1. AC アダプタを本スイッチの電源コネクタに接続します。
2. AC アダプタのプラグを電源コンセントに接続します。
3. 本スイッチに電源が供給されると、Power LED が緑色に点灯します。

第 3 章　機器の接続

- ネットワークへの接続
- 一般的な接続
- PoE 接続

ネットワークへの接続

1. 本製品のイーサネットポートに、LAN ケーブルを接続します。
2. 接続先の機器に、LAN ケーブルのもう一方の端を接続します。
3. 付属の AC アダプタ / 電源ケーブルで本製品と電源コンセントを接続します。
   正しく接続されている場合は、LAN ケーブルを接続しているイーサネットポートの Link/Act LED が点灯します。

補足　全ポートオートネゴシエーション機能搭載で、10/100/1000Mbps/2.5Gbps を自動的に判別して通信します。
また、ケーブルの種類（ストレート / クロス）も自動的に判別します。

一般的な接続

ポート 1-8 を使用して、PC やルータなどのエンドノード（末端機器）のイーサネットポートに接続します。

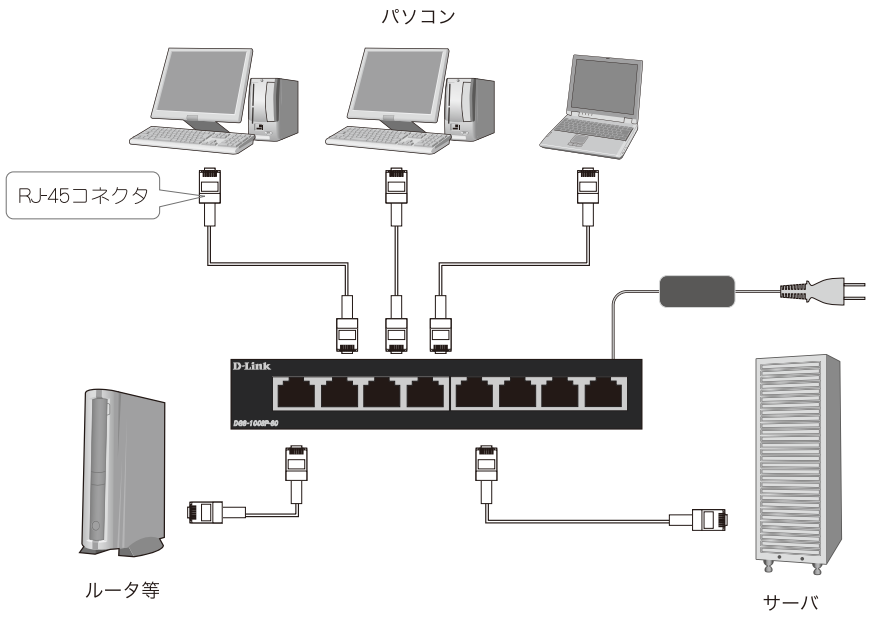

図 3-1　一般的な接続

正常に接続されると Link/Act LED が緑または橙に点灯します。

PoE 接続

ポート 1-8 は PoE 機能を搭載しており、1 ポートあたり最大 90W の電力を IEEE 802.3af/at/bt 準拠の PoE 対応機器に供給することが可能です。
これによりネットワーク内での余計な電源ケーブルの配線をなくし、安全で簡素なネットワークを構築することができます。

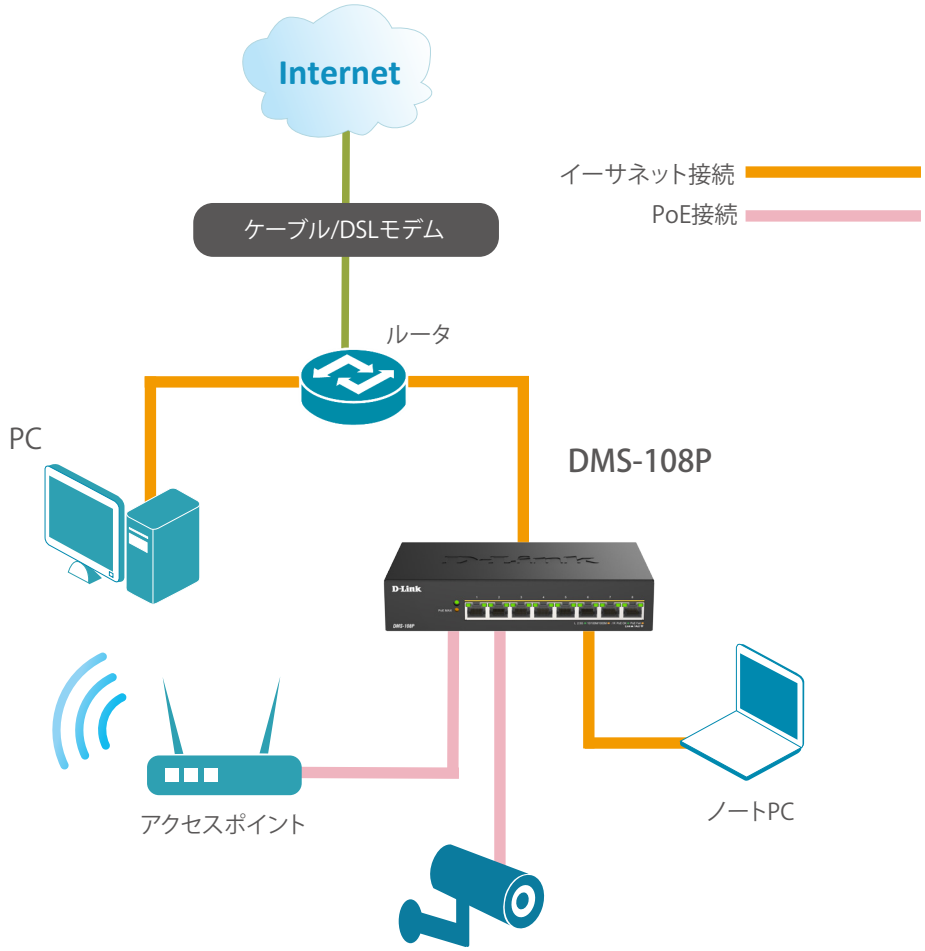

図 3-2　PoE 接続

第 4 章　保証とテクニカルサポート

- 製品に関するお問い合わせについて
- お問い合わせに必要な情報
- 個人情報のお取り扱い
- 日本国外での使用について
- 廃棄方法について
- 商標について
- ご注意

製品に関するお問い合わせについて

下記事項をご確認のうえ、ご購入いただいた販売代理店へお問い合わせください。
1、ユーザマニュアルを再度ご確認ください。
2、弊社ホームページにてサポート情報をご確認ください。
3、ダウンロードサービスをご利用ください。
・最新情報は弊社ホームページにてご確認ください。
https://www.dlink-jp.com/

お問い合わせに必要な情報

迅速な問題解決のために、あらかじめ以下の点についてご確認の上、ご購入いただいた販売代理店へお問い合わせください。

・製品名
・お買い上げ年月日
・シリアル番号（本体または箱に貼付）
・ファームウェアバージョンまたはソフトウェアバージョン
（ファームウェア、ソフトウェアがある製品）
・ご使用環境（OS、周辺機器など）
・エラーメッセージが表示されている場合は、その内容をお知らせください。

個人情報のお取り扱い

ディーリンクジャパン株式会社およびその関連会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応、修理、その確認または製品の最新情報を通知するために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

日本国外での使用について

本製品は日本国内専用です。国外では使用できません。また、本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。

廃棄方法について

本製品、外箱および緩衝材を廃棄する場合は、各自治体の指示にしたがってください。

商標について

「D-Link」は D-LINK CORPORATION および D-Link System Inc. の登録商標です。
Microsoft および Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
本書の中に掲載されているソフトウェアまたは周辺機器の名称は、各メーカーの商標または登録商標です。

ご注意

本書はディーリンクジャパンが作成したものであり、すべての権利を所有しています。
弊社は無断で本書をコピーすることを禁じます。弊社は予告なく本書を修正、変更することがあります。
弊社は改良のため、製品仕様を予告なく変更することがあります。

Copyright © 2025 ディーリンクジャパン株式会社